

平成二十八年度 農業農村整備PR活動 開催

八月六日（土）に博物館明治村にて、愛知県・水士里ネット愛知・愛知豊川用水振興協会の主催により、「お米や野菜に欠かせない〈農業用水〉を中心に、愛知に流れる〈水〉について、見て、触れて、学ぼう」と題して「あいちの農業用水展」が開催されました。

当研究会では、昨年に引き続き、測量機器への触れ合いを通じて、多くの子供達と保護者の方々に測量への関心・理解を深めていただくことを目的に参加型イベントとして「測量実体験コーナー」を開設しました。

当日は気温三十度を超える暑い日にもかかわらず、約二百名の方々が実際に測量機器に直接触れ、測量を体験して頂きました。



測量実体験コーナー



測量実体験（なにが見えるかな?）

平成二十八年度 企画研修会 開催

九月十五日（木）に愛知県土地改良会館大会議室にて、愛知県農林水産部、水士里ネット愛知、会員等約九十名で企画委員会主催の企画研修会を開催しました。当研究会の安藤会長の開会挨拶に続き、二名の講師の方にご講演をしていただきました。

講演Ⅰ「博物館明治村について」

建築担当課長 石川新太郎 様

博物館明治村が平成二十七年三月十八日に開村五十周年を迎えられました。今回の講演では、博物館明治村の生い立ちから、現在までの歴史や重要文化財建造物の紹介をしていただき、また、建築物の保存・修理の現状や維持管理の苦労についても詳細にお話をしていただきました。貴重なわが国の建築物群を見に、久しぶりに明治村に行ってみたくなると思う貴重な講演でした。

講演Ⅱ「愛知県の地震防災対策について」

防災局防災危機管理課主査 武馬正茂 様

愛知県における過去の主な地震災害の説明後、今後、想定される南海トラフ地震における被害想定、その結果を踏まえた「第三次あいち地震対策アクションプラン」「愛知県地域強靱化計画」について詳細にお話をしていただきました。

東日本大震災の記憶がさめやらぬなか、今年四月に熊本地震が発生した後での講演で、今後の防災対策に大変参考となるものでした。



石川 新太郎 様



武馬 正茂 様

平成二十八年度 技術研修会 開催

十一月二十一日（金）に愛知県土地改良会館大会議室にて、愛知県農林水産部、水士里ネット愛知、会員等約百十名で技術委員会主催の技術研修会を開催しました。当研究会の安藤会長の開会挨拶に続き、ご来賓の農林水産部農林基盤局農地整備課主幹 尾畑厚志様からご挨拶をいただきました。

講演Ⅰ

①「転落防護柵の設計について」

農地整備課主査 林 健也 様

歩行者自転車用防護柵の設計について、種別、構造、基礎、安定計算の方法等詳しくご説明をいただきました。

②「揚・排水機場の機器設備の耐震対策」

農地整備課主査 山田 将也 様

設備機器のアンカーボルトを用いた耐震支持方法について、参考とする指針や県の考え方について、具体的な計算方法も交えてご説明をいただきました。

講演Ⅱ「愛知県の活断層地震を知り備える」

信州大学教育学部教授 廣内 大助 様

今年4月に発生した熊本地震、研修会当日に発生した鳥取県中部を中心とする地震など、活断層による直下型地震が活発化してきている中、その地震の発生メカニズムや活断層の調査、過去に東海地方で発生した活断層による地震や愛知県内の活断層と想定される地震規模、震度予測、活断層地震への備え等分かり易くご説明をいただきました。



技術研修会の様子